



# H O ソ イ ル エ 法



# HOソイル※工法とは？

HOソイル(Hydration Optimized Soil Cement:水和最適化ソイルセメント)工法は、建設工事等で発生した残土にセメント等の固化材を混合し、土砂と異なる性状の新しい材料として生まれ変わらせる技術です。

適切な配合決定や品質管理を行うことで、これまで処分の対象としてきた土砂を盛土や構造物材料として利活用できるようになります。



写真出典： <http://www.oksin.jp/list1.html>

写真出典： <http://www.npo-skhrk.org/skhrk03-02.html>

※HOソイルとは、H.O.S.C.  
(Hydration Optimized Soil Cement、  
水和最適化ソイルセメント)の通称。



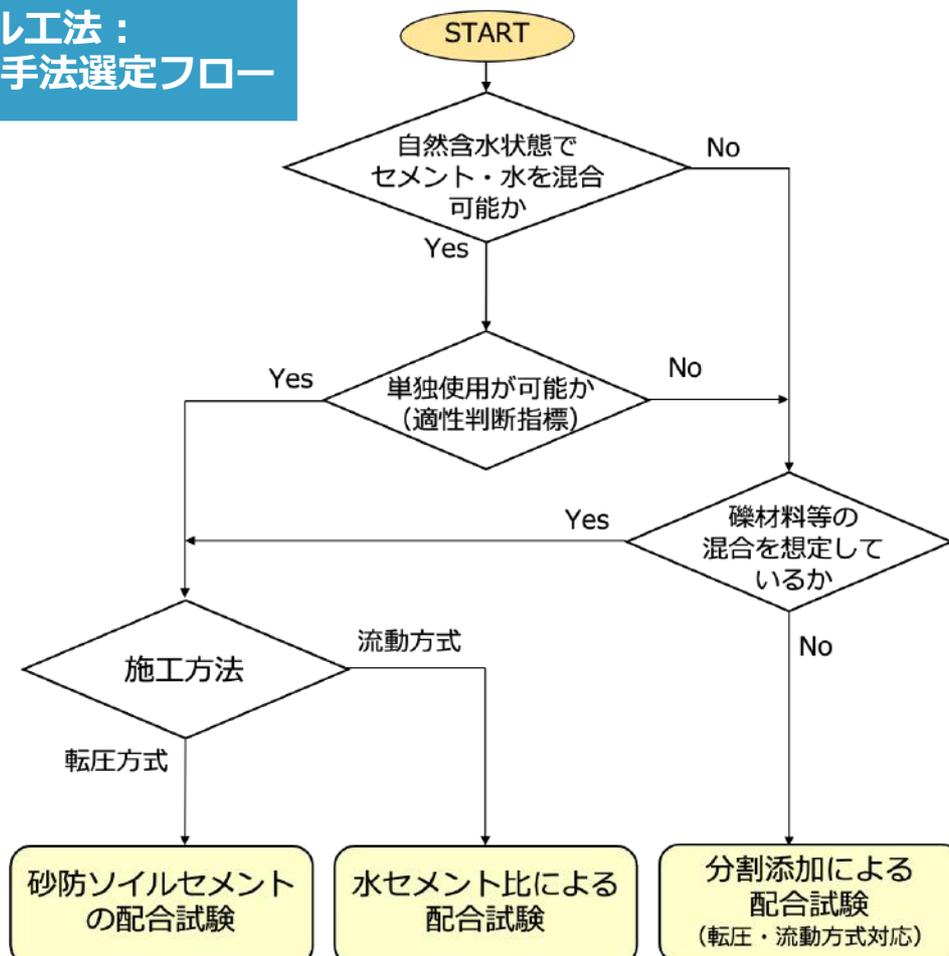
# 独自の配合試験技術

弊社では、これまで全国の防災施設で採用されてきた砂防ソイルセメントの配合技術を基に、性状の異なるあらゆる土砂へ適用可能な独自の配合試験方法を開発してきました。

HOソイル工法では、砂防ソイルセメント用に開発した配合試験に加え、水セメント比による配合試験、分割添加による配合試験の3つの中から、土砂の性状に合わせた最適な配合試験を選択することができます。これにより、水和反応を確実に生じさせる配合を決定することが可能です。

特に、粘性の高い土砂や細粒分を非常に多く含む等、これまで扱いが難しいと言われてきた土砂には、分割添加方式（1次添加で安定化させた材料を解砕し、2次添加で品質を確保する）を採用することで、確実に品質を確保する配合を決定することができます。

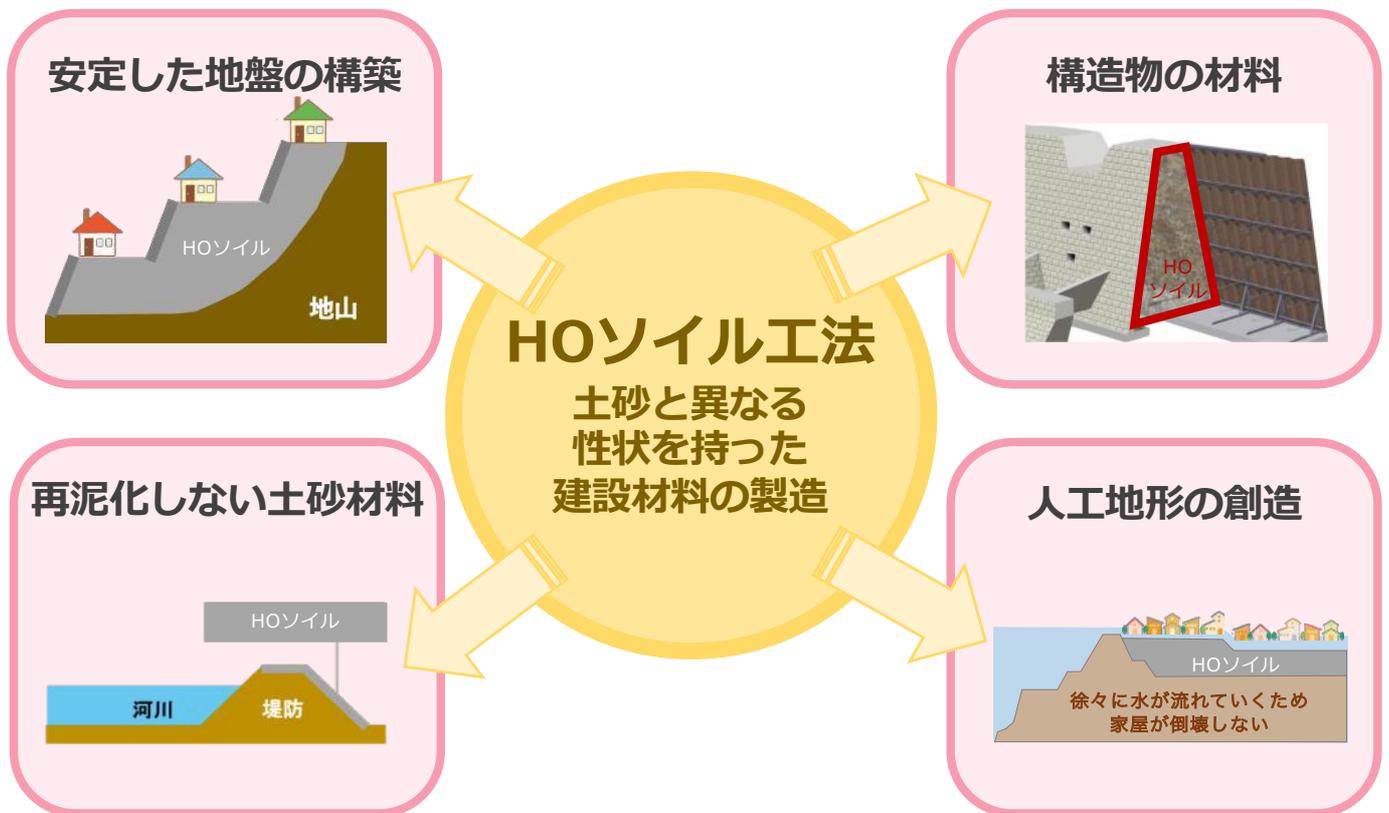
## HOソイル工法： 配合試験手法選定フロー





# どのような場所に使えるか？

HOソイル工法で製造した材料は、土砂材料から構造物材料まで幅広い範囲で用いることができます。また、材料の性状をコントロールすることが可能なため、安全に急勾配な盛土等を構築することも可能となります。また、砂防ソイルセメントの事例のとおり、コンクリートのようにダムや擁壁等の構造物材料へ使用することも可能です。



## — 土砂を資源へ —

現在、国内では年間6,000万<sup>m<sup>3</sup></sup><sub>※1</sub>もの建設発生土が残土として処分されています。HOソイル工法では、これらの処分されてきた土砂を有効活用することで、土捨て場の問題やコスト縮減だけでなく、環境負荷の軽減等にも取り組むことができます。

※1 : <https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001334705.pdf>



**お問合せ先：株式会社インバックス**

お問合せは下記メールアドレス宛にお願いいたします。

Email : [info@invax.co.jp](mailto:info@invax.co.jp) URL : <https://invax.co.jp>

Address : 〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉23-1